

## 地球温暖化対策特別委員会 委員長挨拶

土木学会(JSCE)では学会全体で地球温暖化対策に取り組むこととし、2007年度の会長として地球温暖化対策特別委員会を創設しました。この委員会は図に示すように28存在する土木の各分野に対応するJSCEの既存の調査研究委員会を横断する組織として、本特別委員会の下に3つの小委員会

地球温暖化影響小委員会： 将来の気温変化、海面上昇など対策を研究する前提条件を提示

緩和策小委員会： 温室効果ガス発生抑制技術やエネルギー供給方法改善技術などを提示

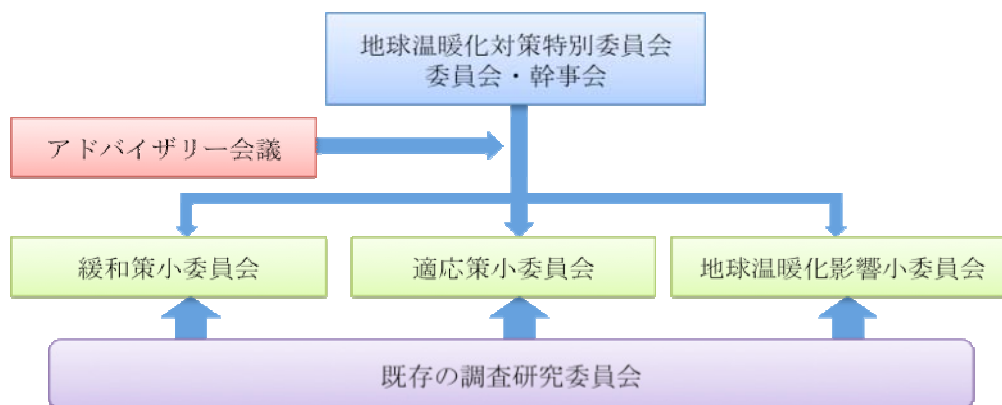
適応策小委員会： 海面上昇や異常気象対策技術などを提示

を設置し、また、地球環境問題に携わった学会の研究者・専門家からなる「アドバイザリー会議」を設置し、委員会の運営に対し助言を受けるようにしました。本委員会の活動として、i) 土木分野における地球温暖化対策に関する最新情報の収集整理 ii) これらの情報を国内学会員や一般市民、政策決定者に対して提供するためのシンポジウムの開催やパンフレット・報告書の作成 iii) 国際活動の窓口としての活動 などを行いました。さらに iv) 土木技術者としての行動指針となるべき **Structural**、**Non-structural** な対策の最終提言の策定を行い、2008年度の成果として本最終報告書をまとめました。

本報告書が 21 世紀の人類最大の課題である地球温暖化問題に挑戦する土木技術者の姿をより多くの方々に知って頂くために役立つとともに、土木技術者にとっても自らの行動指針策定のために役立てれば幸甚です。

2009 年 5 月

地球温暖化対策特別委員会委員長（第 95 代会長） 石井 弓夫



地球温暖化対策特別委員会の構成